

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)		授業の種類		授業担当者	当該科目に関する実務経験
保育の身体表現Ⅱ		(講義・ 演習 ・ 実習)		近藤 鈴	保育士
授業の回数	時間数 (単位数)	配当学年・時期	必修・選択		
15 回	30 時間 (1 単位)	1 年・後期	必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の身体表現Ⅰでの学びを踏まえ、現場での保育を見据えた演習を通して、身体表現活動を展開していくための知識、技術、判断力を習得する。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの表現活動の援助・指導について学ぶ。幼児の表現活動の特徴について理解し、幼児の活動を援助する為に必要な基礎技術を身につける。また学生自身が表現遊びの計画・実践・評価ができるような参加型の授業として進める。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演習を通して、学生 (自分) 自身が表現遊びの楽しさを味わい、子どもの目線に立った保育の展開を考えることができる。 					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身体表現あそびの指導 ①指導上の配慮 2 身体表現あそびの指導 ②部分実習に使える指導案 3 子どもが喜ぶ身体表現の教材 <ol style="list-style-type: none"> ①ひとりで ふたりにで みんなで ②やってもらおうあそび・やってあげるあそび 4 ③かおあそび <ol style="list-style-type: none"> ④じゃんけんあそび 5 ⑤手あそび・うたあそび <ol style="list-style-type: none"> ⑥かえうたあそび 6 ⑦フォークダンス・リズムダンス 7 〃 8 ⑧表現遊び (リトミック) 9 創作ダンス① 10 創作ダンス② 11 創作ダンス③ 12 創作ダンス④ 13 創作ダンス⑤ 14 発表 15 期末試験 					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p style="text-align: center;">『保育表現技術』豊かに育つ・育てる身体表現 (ミネルヴァ書房)</p>					
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点 (75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 					